

体温計

vol.143

2020

2

月号

血管撮影室を リニューアル しています

心臓、腹部などの血管の検査・治療を行う血管撮影装置を更新しています。これまでの血管撮影室(3部屋)の装置については順次更新を行い、昨年8月には1部屋増室し、2020年7月からは新しい装置での4室体制となります。どうぞご期待ください。

カテーテル検査・治療は多職種で構成されたチームワークで成り立っており、コミュニケーションが重要と考えています。新しい血管撮影装置では、より鮮明な画像を得ることが可能であり、からだへの負担も軽減されますので、これからもチーム一丸となり、よりよい医療が提供できるよう取り組んでまいります。

血管撮影治療室 主任科長 村田耕一郎



Topics

■今月の診療科「**麻酔科**」〈手術にのぞむいのちを守る〉

●看護部だより〈産前産後のお母さんを支えます ～しず Mama Room～〉

- 外来担当医・特殊外来一覧表
- 医師人事異動情報
- 病院からのお知らせ

麻酔科

—手術にのぞむ
いのちを守る—

麻酔とは

麻酔とは、痛みを感じなくさせる方法です。呼びかけても目を覚まなくなるのが、全身麻酔。全身麻酔では全身のどこも痛みを感じなくなります。身体の一部のみが痛みを感じなくするのが局所麻酔です。手術や患者さんの状況に応じて、担当の麻酔科医が、最も安全と考えられる麻酔方法を決めます。また手術中に患者さんの状態にあわせて麻酔方法を変えることもあります。

麻酔を受けている間は患者さんの脳、呼吸や循環（大まかに言う呼吸の回数、血圧や心拍数）に影響が出ます。この影響を最小限にするために私たち麻酔科医は患者さんの呼吸や循環を助けながら手術の進行を見守っています。

患者さんの状態を見守るために、麻酔を受けている間、つまり手術前からはじまり手術中や手術後にまで監視装置（モニター）を身体につけ、心電図、血圧、体温、血液中の酸素飽和度、脈拍数、尿量などを測定します。



麻酔科医

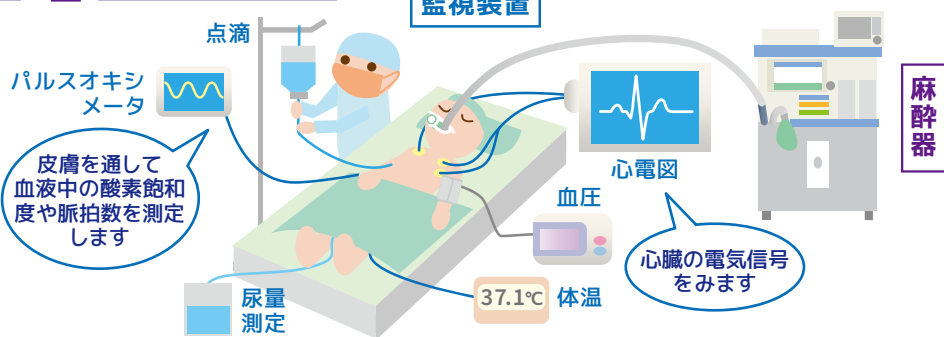
手術が終わったら麻酔を覚めます。麻酔薬の影響が少なくなり、身体の状態が安定したのを確認して病室へ戻ります。通常の病室へ行く前に回復室やICU（集中治療室）のような特別な病室で数時間から一晩、休んでもらうこともあります。全身麻酔では病室に戻ってからしばらくの間眠りそうな様子が続いたり、手足を無目的に動かすこともありますが、心配はいりません。

局所麻酔では病室へ戻った時には会話ができる状態にありますが、手術中に全身麻酔も合わせて行ったり、鎮静薬を用いた場合には、完全に目が覚めるまで時間がかかることもあります。

1 手術の前に麻酔をします 2 麻酔中(手術中)



マスクで酸素を吸っていただきます。点滴からお薬を数種類入れると意識がなくなります。



3 麻酔後



- 名前を呼ぶと目が開くか
- 手足に麻痺がないか
- 痛みはとれているか
- 出血はないか
- 気持ち悪くないか
- 監視装置の値は正常範囲かなどを確認します。

麻酔器



麻酔科主任科長 望月 利昭



昭和62年に浜松医科大学を卒業してからずっと麻酔科医として仕事を続けています。かけ出しの頃は小児の麻酔に関心を持ったり、医学のなかでも基礎医学といわれる分野で仕事をしたりと麻酔科医が携わるあらゆる分野に関心を持っています。十数年前から心肺蘇生法教育にも関心を持ち、さまざまな場面で皆様にお目にかかる場面が増えていきました。普段は当院麻酔科のまとめ役の仕事をしており、手術の件数は増えていく一方なのに麻酔科医は不足しているのが現状です。皆様に安心して手術を受けていただくためには麻酔科医の仕事はとても重要です。当院に必要な麻酔科医を置くために、これから力を尽くしていきたいと思っています。

科長 玉里 順子



私は麻酔科指導医として日々、手術の麻酔や研修医を含めた病院スタッフの指導にも携わっています。手術を受ける患者さんとそのご家族は「麻酔」という言葉に対しても不安や恐怖を感じていらっしゃると思います。手術前に患者さんにお話することで、術中術後の痛みだけではなく、その漠然とした不安も取り除くことが私たち麻酔科医の使命です。麻酔に関する疑問がありましたら、手術前の直接お話をうかがう際にぜひお問い合わせください。手術後にお会いする時に笑顔で痛くなかった、怖くなかったという嬉しい言葉をいただけるように精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

医長 小林 賢輔



医師になって14年目の小林賢輔です。昨年の4月に当院に赴任しました。当院の特徴は心臓の手術を多くやっていることだと思います。私はこの心臓の手術の麻酔に興味があります。心臓の手術ではさまざまな医療機器やモニター、薬剤などが使用されます。それらを用いて心臓血管外科の医師をはじめ、麻酔科医、看護師、臨床工学技士など多くの医療スタッフの協力のもと日々、手術が行われています。これからも患者さんが安心して手術を受けられるよう努力していきます。

科長 綾部 裕子



麻酔科26年目の綾部です。静岡病院には7年目に赴任し、その後しばらく関西で仕事をした後15年目に再び当院に赴任してきました。2回目は希望しての異動です。忙しくはありますが、多くの麻酔を行い経験を積めること、医療機器が豊富なこと、看護師や臨床工学技士などのスタッフに恵まれていることなど、とても良い職場です。私が麻酔業務のうち最も大事にしているのは術前診察で、患者さんにリラックスしていただくため、そしてその後の麻酔をイメージするために必須です。夜寝ながら明日の麻酔をシミュレーションしたりします。特に注意を払うのは、麻酔器、医療ガスの配管で、整理整頓は安全のためにもとても重要だと考えています。

医長 美根 智子



静岡へ越して来て、もうすぐ3年が経とうとしています。静岡は気候も穏やかですが、皆さんの人柄もとても温かく、静岡へ来れたことを嬉しく思っています。麻酔をする際は、患者さんの年齢やお体の状態に合った麻酔を、そして手術後に少しでも痛みなく過ごしていただけるように心がけています。手術室に来られる患者さんのご不安を和らげることができるように、日々努力していきたいと思っています。

地域社会に向けての活動



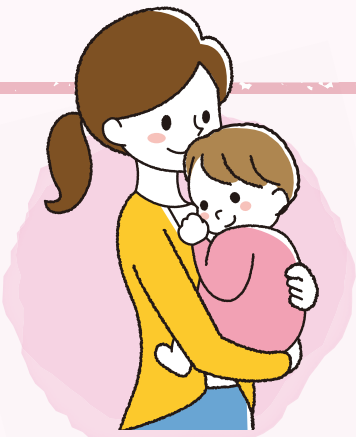
中高生や地域コミュニティに関わる方々に向けた心肺蘇生・AEDの使い方の講習などの活動もしています。



産前産後のお母さんを支えます 看護部だより

～しず Mama Room～

西4階病棟新生児室



産前産後のお母さんたちの相談を受ける **しず Mama Room** を開設してから2年が経ちました。今年からは、ひとりで悩むお母さんたちが少なくなるように、全妊産婦を対象に産後2週間前後に来院していただき、西4階病棟の助産師が主体となって健診や相談を受けています。

「産後のしずMama Room」では、授乳相談、乳房ケア、赤ちゃんの体重増加の確認、育児の悩み相談などを行っています。おうちで育児がはじめてから、お母さんたちはどのような不安や心配ごとで困っているのか、どのような支援を必要としているのかを知るために、今までの指導記録を振り返り、研究発表を行いました。

お母さんは赤ちゃんとお過ごし中で、授乳について

困ることが多くあり、授乳指導の大切さを改めて感じました。また、授乳以外にもたくさんの相談があり、お母さんたちはいろいろなことを心配していることがわかりました。おうちに帰ってから困らないように、入院中の指導の見直しや、より多くの育児練習ができるように、はじまったばかりですが母児同室もさらに進めていきたいと思っています。

産後はからだの変化、ホルモンの変化により、普段よりもこころが不安定になることに加え、少子化や核家族化などの子育て環境の変化もあり、お母さんたちは多くの不安を抱えています。

私たち助産師は悩めるお母さんの支えになり、楽しく子育てができるようお手伝いしたいと思い、日々学習を続けています。



～院内の看護研究発表会で最優秀賞を受賞しました～



体重を測ります



がんばるママを応援します

静岡市立静岡病院 市民公開講座 「がん診療の実際」

2/16 日

14時-16時 (開場13時30分)

定員 100 名 入場無料(先着順) (※病院駐車場は有料です)

会場 当院西館12階講堂 当日、直接会場へお越しください

■ 詳細は総務課までお問い合わせください。

☎ 054-253-3125 (代)

がん診療について、呼吸器外科、産婦人科、消化器内科医師がお話しします。



- 外来診療時の受付時間 **8:00～11:30**
(一部、受付曜日や時間が異なる診療科があります)
- 担当医は、都合により変更することがあります
(土・日曜日・祭日は休診です)

急病時の連絡先

24 時間 受け付けています

- 救急外来 **054-253-3125**
- 心臓救急 **054-252-4399**

人間ドック

予約制、当日結果説明、昼食付

脳ドック

予約制、毎週火曜日実施、当日結果説明
(予約受付 月～金 **10:30～16:00**)

健康診断

予約制
(予約受付 月～金 **10:30～16:00**)

レディース検診

予約制
(予約受付 月～金 **10:30～16:00**)

予約と受付は、**市民健診センター**へどうぞ

TEL: 054-253-3125 (内線 5350)

FAX: 054-253-3237

